

2026年6月11日

各 位

会 社 名 株式会社アップガレージグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 河野 映彦
(コード番号：7134 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 専務執行役員管理本部長 大口 智文
(TEL 045-988-5777)

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 分析及び評価の方法

当社の取締役の構成（代表取締役2名、社外取締役3名）を考慮して、全社外取締役に対し、記名アンケート方式にて自己評価・意見を収集しました。その後、実効性の評価及び課題等について全取締役にて内容を共有し、今後の対応について検討しました。

評価項目は、以下のとおりです。

- 企業価値向上への取組（業容の拡大、次世代経営者育成、ガバナンス、リスクテイク及び管理、社外役員への情報提供体制等）
- 今後の課題

2. 取締役会の実効性に関する分析・評価の結果の概要

当社取締役会は、経営上の重要な意思決定及び業務執行の監督を行うための適切な体制が構築されていること、監査役を含めた社外役員への情報提供体制は概ね適切に運営されていること、及び社外役員が自由に発言できる雰囲気があり適切な議論が行われていることなどから、全体として取締役会の実効性が確保されているものと全取締役が改めて認識しました。

また、25年度において社外取締役が特に注力した取組については、次世代経営層の育成、株主利益最大化、経営資源のアロケーションの在り方、会社の成長に応じて市場から求められるコーポレートガバナンスの在り方等があがりました。

今後の課題としましては、①次世代経営層の育成、②海外展開、③ESG・SDGs等非財務情報の開示を重点にした取組を行うことを全取締役にて確認しました。

3. 2026 年度の取組み

今回の評価結果と今後の課題を踏まえ、当社は、取締役会の実効性を更に高めるため、次の取組を行ってまいります。

- ① 次世代経営層の育成については、社外取締役による部長級職員へのヒアリングおよびディスカッションを行い、次世代経営層の育成をサポート致しました。2026 年度も次世代経営者研修を実施すると共に、社外取締役による研修受講者を中心としたメンバーとのディスカッションを継続して行います。
- ② 海外展開については、毎月の取締役会にて、業績および海外店舗スタッフからのヒアリング結果等の報告を行いました。2026 年度も海外展開をサポートするだけでなく、リスクとその管理についても適切な議論をすすめます。
- ③ ESG・SDG s 等非財務情報の開示については、四半期毎の決算説明書において適切な開示に努めました。2026 年度も、取締役会だけでなくサステナビリティ委員会にも ESG・SDG s 等の活動状況を共有し、適時適切な情報開示に努めます。
- ④ また、2025 年度には取締役会とは別に全ての取締役および監査役が参加し、経営課題の認識とその解決について自由な議論が出来る場を初めて設けました。2026 年度はこれを拡大し、年に 4 回上記の自由議論の場を設定致します。

今後も、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以上